

# 長崎県の農林水産業の概要

## 特徴・取組

長崎県は、九州の西北部に位置し、海域を含めて東西213km、南北307kmに及ぶ。離島・半島地域が大部分を占めていることから、平坦地に乏しく地形が複雑で急傾斜地が多い。また、海岸線の延長は北海道に次ぎ全国第2位であり、長く複雑な海岸線には多くの湾や入江が形成されており、海面養殖の適地として活用されている。

一方で、大消費地から遠隔地にあり、地理的・地形的な条件には恵まれていない。

産業構造は、県内総生産（平成30年度：4兆6,766億円）を産業別にみると、第1次産業が1,317億円（2.8%）、第2次産業が1兆1,794億円（25.2%）、第3次産業が3兆3,376億円（71.4%）となっている。

農林業においては、平坦地が少ないという厳しい耕地条件ではあるが、県内各地で、地形や自然条件を活かした農林業が営まれている。

水産業においては、東シナ海と日本海を回遊する多くの魚介類に恵まれており、海洋環境の多様性に比例して、内湾から沖合までの漁場環境を活かした多種多様な漁業が営まれている。

諫早湾干拓地でのたまねぎ、レタス等の大規模生産、各地域でのブロッコリー等の露地野菜と合わせた集出荷施設の整備が進んでいる。また、いちご、トマト、花き等の施設園芸も拡大しており単収向上に向けて取り組まれている。さらに、県内各地において肉用牛の増頭も進んでいる。これらの取組みにより、農業産出額は増加傾向で推移している。

令和3年度から令和7年度までの5年間、長崎県の農林業・農山村の目指す姿と施策の方向性を示した「第3期ながさき農林業・農山村活性化計画」を策定し、若者から「選ばれる」、魅力ある農林業・暮らしやすい農山村の実現を目指して産地対策と集落対策を車の両輪として施策を展開する。

## 主な農林水産物

### 肉用牛

長崎和牛は平成24年全国和牛能力共進会で肉牛の部日本一を獲得。県内各地で飼養され、県産出額1位の品目。  
(飼養頭数全国6位)



### ばれいしょ

橘湾に面した一帯が主産地で、温暖な気候を活かし、春と秋の年2回栽培している。  
(収穫量全国3位)



### いちご

江戸時代、オランダ人によって長崎に伝来され、今では「ゆめのか」を中心に県下全域で栽培されている。  
(収穫量全国4位)



### びわ

江戸時代から栽培されている長崎の特産品。長崎半島を中心に栽培され、収穫量は全国の約33%を占める。  
(収穫量全国1位)



### みかん

大村湾から佐世保湾に面した一帯が主産地。みかんの品質を高めるシートマルチ栽培を推進。  
(収穫量全国5位)



### あじ類

県内一円でまき網や一本釣り等により漁獲されている。各地でブランド化の取組も行われている。  
(漁獲量全国1位)



### さば類

県内一円でまき網等により漁獲されており、一部地域でブランド化の取組も行われている。  
(漁獲量全国1位)



### たい類

県内一円で刺し網や一本釣り等により漁獲されている。  
(漁獲量全国1位)



### ふぐ類(養殖)

県の北部で養殖が盛んであり、収穫量は全国の約5割を占める。  
(収穫量全国1位)



### くろまぐろ(養殖)

五島、対馬で養殖が盛んであり、県もマグロ養殖振興プランを策定し、後押しを行っている。  
(収穫量全国1位)



# 長崎県内の各地域における農林水産物

## 壱岐地域

【農畜産物】水稲、アスパラガス、メロン、ブロッコリー、葉たばこ、肉用牛  
 【水産物】いか類、ぶり類、くろまぐろ、さわら類

## 県北地域

【農畜産物】水稲、みかん、いちご、メロン、アスパラガス、さやいんげん、たまねぎ、なす、ブロッコリー、茶、葉たばこ、肉用牛、乳用牛、豚  
 【水産物】いわし類、あじ類、さば類、まだい、ぶり類、いさき、ふぐ類(養殖)、くろまぐろ(天然・養殖)

## 県央地域

【農畜産物】水稲、いちご、ばれいしょ、たまねぎ、アスパラガス、にんじん、トマト、きゅうり、なす、びわ、みかん、茶、輪ぎく、カーネーション、肉用牛、乳用牛、豚  
 【水産物】いわし類、あじ類、さば類、えび類、かき類(養殖)、ふぐ類(養殖)

## 島原地域

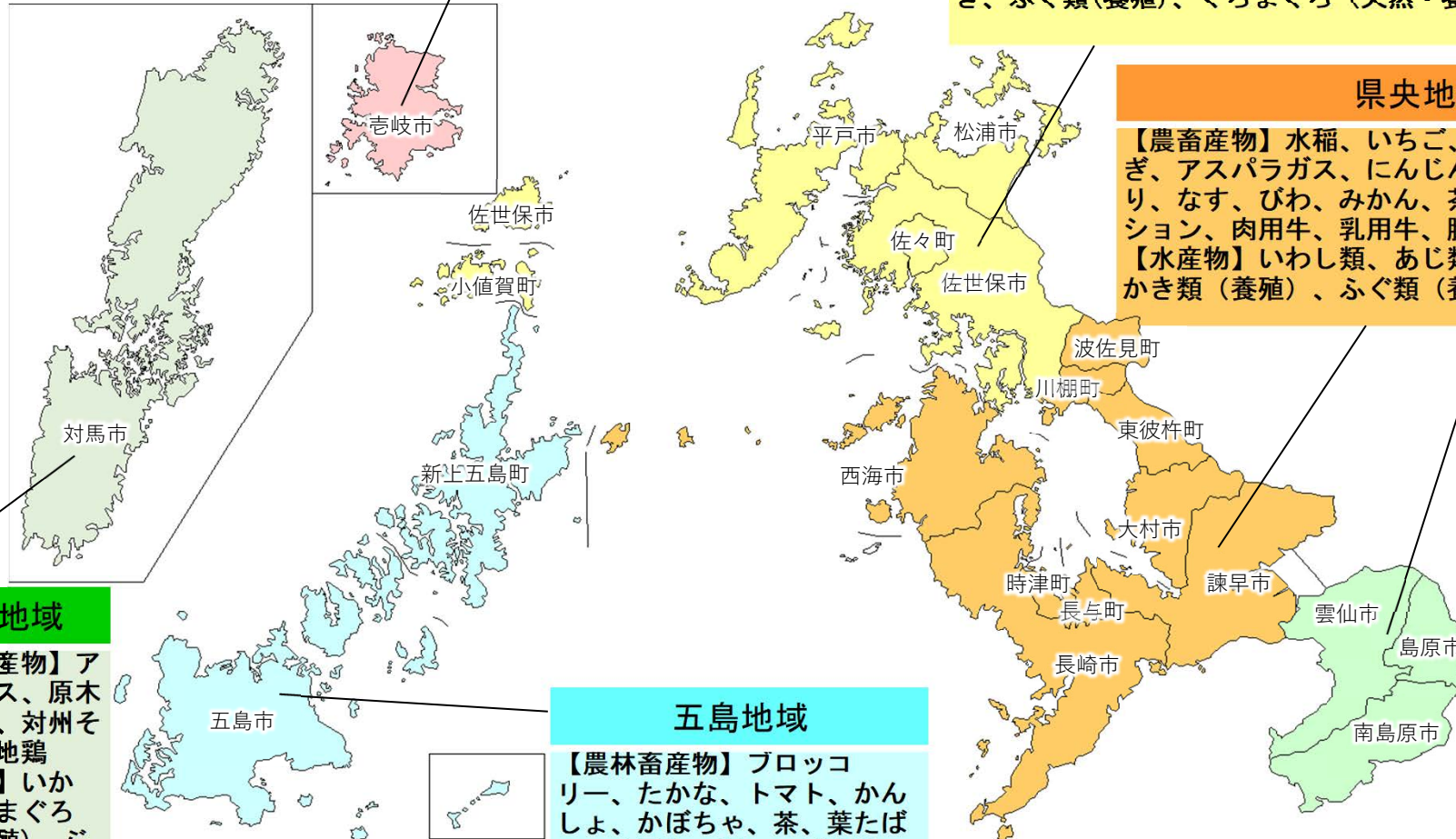
【農畜産物】ばれいしょ、だいこん、にんじん、たまねぎ、はくさい、すいか、いちご、アスパラガス、レタス、トマト、ブロッコリー、葉たばこ、肉用牛、乳用牛、豚、鶏卵、プロイラー  
 【水産物】いわし類、ふぐ類、がざみ類、たこ類、えび類、わかめ類(養殖)、のり(養殖)

## 対馬地域

【農林畜産物】アスパラガス、原木しいたけ、対州そば、対馬地鶏  
 【水産物】いか類、くろまぐろ(天然・養殖)、ぶり類、あまだい類、あなご類、さざえ、真珠

## 五島地域

【農林畜産物】ブロッコリー、たかな、トマト、かんしょ、かぼちゃ、茶、葉たばこ、肉用牛、豚、つばき油  
 【水産物】あじ類、さば類、たちうお、くろまぐろ(天然・養殖)、まだい、いさき、ぶり類



出典：令和3年度「ながさきの農林業」を基に作成

# 長崎県の農業（1）

- ・耕地面積は4万6,100haで、全国第31位。うち、田が2万1,100ha、畑が2万5,000ha。
- ・農業経営体数は1万7,936経営体で、全国第29位。総農家数は、2万8,282戸で29位。
- ・認定農業者数は5,431経営体で、全国第17位。うち、法人数は390法人で33位。

## 耕地面積

区分	長崎県	全国	全国順位
耕地面積	46,100 ha	4,372,000 ha	31
田	21,100 ha	2,379,000 ha	38
畑	25,000 ha	1,993,000 ha	17
普通畑	19,300 ha	1,130,000 ha	16
樹園地	5,440 ha	268,100 ha	14
牧草地	299 ha	595,100 ha	29
参考) 総土地面積	413,098 ha	37,797,561 ha	37

出典：「令和2年耕地面積(7月15日現在)」、「令和2年全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)

## 農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	長崎県	全国	全国順位
農業経営体数	17,936 経営体	1,075,705 経営体	29
法人経営体	387 経営体	30,707 経営体	36
総農家数	28,282 戸	1,747,079 戸	29
販売農家	17,329 戸	1,027,892 戸	28
参考) 世帯総数	560,720 世帯	53,448,685 世帯	27
集落営農数	103 集落営農	14,832 集落営農	36

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)、「令和2年集落営農実態調査(令和2年2月1日現在)」

## 荒廃農地面積

区分	長崎県	全国	全国順位
荒廃農地面積	17,491 ha	283,536 ha	1

出典：「令和元年都道府県別の荒廃農地面積」

## 基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	長崎県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	25,107 人	1,363,038 人	25
男	14,750 人	822,144 人	26
女	10,357 人	540,894 人	25
65歳以上	15,482 人	948,621 人	28
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	61.7 %	69.6 %	-
認定農業者数	5,431 経営体	233,806 経営体	17
法人数	390 法人	26,080 法人	33
参考) 総人口数	1,377,187 人	127,094,745 人	29

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和2年3月末現在)」、「平成27年国勢調査」(総務省統計局)

## 担い手への農地の集積状況

区分	長崎県	全国	全国順位
担い手への集積面積	19,693 ha	2,508,560 ha	29
集積率	42.5 %	57.1 %	18

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和元年度版)」

注：農地中間管理機構を介さないものを含む。  
令和元年3月末の数値である。

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用  
(但し「2020年農林業センサス」は令和3年4月27日公表データを使用)

# 長崎県の農業（２）

- ・農業産出額は1,513億円で、全国第21位。うち、畜産が558億円、野菜が453億円となっている。
- ・農畜産物の生産状況は、びわが全国第1位、ばれいしょが3位。
- ・農業者等による生産関連事業は、農家民宿の年間販売金額が9,600万円で全国第16位。経営体数は50経営体で6位。

## 農業産出額

区分	長崎県	全国	全国順位
農業産出額	1,513億円	89,387億円	21
米	116億円	17,484億円	39
麦類	2億円	543億円	23 *
雑穀	0億円	110億円	34
豆類	1億円	773億円	35
いも類	105億円	2,007億円	5
野菜	453億円	21,515億円	17
果実	146億円	8,399億円	15
花き	74億円	3,264億円	12
工芸農作物	40億円	1,699億円	10
その他作物	14億円	718億円	12 *
畜産	558億円	32,344億円	15
肉用牛	254億円	7,482億円	7
乳用牛	61億円	9,353億円	26
生乳	50億円	7,629億円	27
豚	127億円	6,122億円	15
鶏	114億円	8,647億円	25
鶏卵	44億円	4,595億円	27
ブロイラー	70億円	3,510億円	12 *
その他畜産物	2億円	740億円	28
加工農産物	3億円	530億円	20

出典：「令和元年生産農業所得統計」

注：1 「全国」の値は、都道府県別に推計した農業産出額を合計した値であり、全国推計した農業総産出額とは一致しない。

2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

## 農畜産物の生産状況

区分	年次	長崎県	全国	全国順位
びわ	収穫量	元 1,120 t	3,430 t	1
ばれいしょ	収穫量	元 90,900 t	2,399,000 t	3
いちご	収穫量	元 11,100 t	165,200 t	4
レタス	収穫量	元 36,000 t	578,100 t	4
たまねぎ	収穫量	元 35,200 t	1,334,000 t	4
みかん	収穫量	元 54,000 t	746,700 t	5
にんじん	収穫量	元 31,100 t	594,900 t	5
かぼちゃ	収穫量	元 5,520 t	185,600 t	5
きく計（切り花類）	出荷量	元 56,800 千本	1,412,000 千本	5
肉用牛	飼養頭数	R2 84,100 頭	2,555,000 頭	6
アスパラガス	収穫量	元 1,820 t	26,800 t	6
ブロッコリー	収穫量	元 9,470 t	169,500 t	7

出典：「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」

## 農業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区分	長崎県	全国	全国順位
農産加工	総額	9,423 百万円	946,841 百万円
	事業体数	360 事業体	32,400 事業体
農産物直売所	総額	18,613 百万円	1,053,366 百万円
	事業体数	230 事業体	23,650 事業体
農家民宿	総額	96 百万円	5,409 百万円
	経営体数	50 経営体	1,360 経営体

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 長崎県の林業

- ・ 林業産出額は65億5,000万円で、全国第23位。うち、栽培きのこ類生産が53億4,000万円で9位。
- ・ 林産物の生産状況は、つばき油が全国第1位。
- ・ 製材工場数は48工場で、全国第39位。

## 林野面積

区分	長崎県	全国	全国順位
林野面積	246,301 ha	24,770,166 ha	34
国有林	24,096 ha	7,153,338 ha	31
民有林	222,205 ha	17,616,828 ha	33
人工林面積	104,591 ha	10,203,842 ha	36

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「森林資源の現況」(平成29年3月31日現在)

## 林業経営体数

区分	長崎県	全国	全国順位
林業経営体数	178 経営体	34,001 経営体	40
法人経営体	46 経営体	4,093 経営体	32

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

## 林業産出額

区分	長崎県	全国	全国順位
林業産出額	65.5 億円	4,549.2 億円	23
木材生産	11.4 億円	2,294.0 億円	36
栽培きのこ類生産	53.4 億円	2,170.2 億円	9

出典：「令和元年林業産出額」

注：「全国」の値は、都道府県別に推計した林業産出額を合計した値であり、全国推計した林業産出額とは一致しない。

## 林産物の生産状況

区分	長崎県	全国	全国順位
素材生産量	118 千m <sup>3</sup>	21,883 千m <sup>3</sup>	38
針葉樹	84 千m <sup>3</sup>	19,876 千m <sup>3</sup>	38
すぎ	31 千m <sup>3</sup>	12,736 千m <sup>3</sup>	41
ひのき	53 千m <sup>3</sup>	2,966 千m <sup>3</sup>	20
広葉樹	34 千m <sup>3</sup>	2,007 千m <sup>3</sup>	12
つばき油	生産量 27 KL	40 KL	1
生しいたけ	生産量 3,042 t	71,071 t	8
乾しいたけ	生産量 60 t	2,414 t	8

出典：「令和元年木材統計」、「令和元年特用林産基礎資料」

## 製材工場数

区分	長崎県	全国	全国順位
工場数	48 工場	4,382 工場	39
製材用素材の入荷があった工場数	48 工場	4,340 工場	39
国産材のみ	27 工場	3,358 工場	41
国産材と輸入材	21 工場	771 工場	16

出典：「令和元年木材統計」

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用  
(但し「2020年農林業センサス」は令和3年4月27日公表データを使用)

# 長 崎 県 の 漁 業

- ・海面漁業・養殖業産出額は1,013億円で、全国第2位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業であじ類、さば類、たい類が全国第1位。海面養殖業でくろまぐろ、ふぐ類が1位。
- ・漁業者等による生産関連事業は、水産加工の年間販売金額が75億9,000万円で、全国第6位。事業体数は200事業体で2位。

## 漁船隻数

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
漁船隻数	9,913 隻	132,201 隻	2
動力漁船	6,314 隻	69,920 隻	2

出典：「2018年漁業センサス」

注：漁船隻数は、海面漁業経営体が漁業生産のために使用した漁船の数である。

## 漁業経営体数

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	5,998 経営体	79,067 経営体	2
内水面漁業経営体数	18 経営体	4,772 経営体	42

出典：「2018年漁業センサス」

## 漁業就業者数

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	11,762 人	151,701 人	2
男	10,244 人	134,186 人	2
女	1,518 人	17,515 人	2

出典：「2018年漁業センサス」

## 漁業産出額

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	1,013 億円	13,484 億円	2

出典：「令和元年漁業産出額」

## 水産物の生産状況

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	275,239 t	4,143,433 t	2 *
海面漁業漁獲量	250,771 t	3,228,206 t	3
あじ類	44,002 t	113,869 t	1
さば類	71,761 t	450,441 t	1
たい類	4,533 t	25,085 t	1
海面養殖業収穫量	24,468 t	915,228 t	12 *
くろまぐろ	7,188 t	19,584 t	1 *
ふぐ類	1,801 t	3,824 t	1 *
内水面漁業・養殖業生産量	5 t	52,875 t	38 *
内水面漁業漁獲量	- t	21,767 t	-
内水面養殖業収穫量	5 t	31,108 t	43 *

出典：「令和元年漁業・養殖業生産統計」

注：1 海面漁業・養殖業生産量は、当該都道府県に所在する漁業・養殖業経営体の生産量である。

2 「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

3 東京電力ホールディングス株式会社福島第一原子力発電所事故の影響を受けた区域において、同事故の影響により出荷制限又出荷自粛の措置がとられたものについては、生産量に含めていない。

## 漁業生産関連事業の年間販売金額及び事業体数

区 分	長 崎 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	7,590 百万円	175,132 百万円	6
	事業体数	200 事業体	1,500 事業体	2
水産物直売所	総額	1,911 百万円	36,489 百万円	4 *
	事業体数	40 事業体	800 事業体	3 *
漁家民宿	総額	189 百万円	6,659 百万円	13 *
	経営体数	60 経営体	900 経営体	3 *

出典：「令和元年度6次産業化総合調査」

注：「\*」印がある区分の順位は、秘密の保護上統計数値を公表していない都道府県を除いた順位である。

令和3年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

# 長崎県の農林水産業の話題等

## 新たな「ながさき農林業・農山村活性化計画」策定！

長崎県は令和3年度から5年間の長崎県の農林業・農山村に係る施策の方向性と行動計画をまとめた「第3期ながさき農林業・農山村活性化計画」を策定した。

長崎県の農林業・農山村の持続的な発展を図るため、若者から「選ばれる」、魅力ある農林業・暮らしやすい農山村の実現を目指し、「産地対策」と「集落対策」を車の両輪として施策を展開する。

【産地対策】農林業の生産性向上等により産地の維持・拡大を実現する。

【集落対策】多様な住民が活躍し、支えあう持続可能な集落を実現する。

## 令和2年度農林水産祭 肉用牛繁殖部門天皇杯受賞！

長崎県北松浦郡小値賀町の松崎秀利氏・弘子氏は夫妻で耕作放棄地や遊休農地を再生し、放牧場及び飼料畑面積を着実に拡大、自給飼料増産や青空スタンを活用した放牧中心の飼養管理により離島のハンディキャップを克服し、省力・低コスト経営を実現している。

また、緻密なデータ管理による分娩間隔は365日（全国平均400日）と全国でもトップレベル。監視カメラとスマホを連動させた分娩監視による事故予防、育種改良に裏付けされた高収益経営、女性の活躍等の活動が高く評価された。

### 【産地対策】

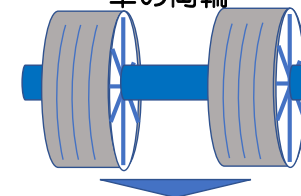
次代につなげる活力ある農林業産地の振興

### 【集落対策】

多様な住民の活躍による農山村集落の維持・活性化

若者  
多様な担い手

車の両輪



農林業を通じた地域の雇用と所得の確保



夏場の放牧場



青空スタンションと放牧牛